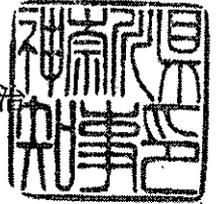




政総第 1342 号
令和 5 年 7 月 10 日

神奈川県議会議長 加藤 元弥 殿

神奈川県知事 黒岩 祐治



質問趣意書について（回答）

令和 5 年 6 月 27 日付け神議第 1335 号をもって送付のありました青木マキ議員からの質問趣意書について、別紙のとおり答弁書を提出します。

問合せ先

政策局総務室

企画調整第二グループ 土屋

内線 3026

答 弁 書

オンラインカジノの規制と啓発について

日本国内でオンラインカジノに接続して賭博を行うことは犯罪であることや、消費生活相談に寄せられたトラブル事例などを、Facebook や Twitter 等を通じて、県民に周知するとともに、オンラインカジノ被害の未然防止や規制方法等を検討し、実効性のある対策を講じるよう、機会をとらえて、国に伝えてまいります。

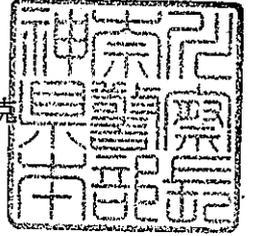
また、多重債務に陥る一つの要因として、ギャンブル等依存症が考えられます。県では、今年度、ギャンブル等依存症対策推進計画を3年ぶりに改定しますが、これまでの対策を強化するとともに、特に若者を対象に、オンラインカジノなどインターネットでのギャンブルの危険性を啓発する取組などを盛り込みたいと考えています。



神生保発第 84 号
令和 5 年 7 月 10 日

神奈川県議会議長 加藤 元弥 殿

神奈川県警察本部長 直江 利克



質問趣意書について (回答)

令和 5 年 6 月 27 日付け神議第 1335 号をもって送付のありました青木マキ議員からの質問趣意書について、別紙のとおり答弁書を提出します。

問合せ先

総務部総務課連絡係

別紙

答 弁 書

1 賭博罪の摘発件数及びオンラインカジノの摘発事例について

県警察における賭博罪の摘発（検挙）件数は、令和2年（2020年）は6件、令和3年（2021年）は5件、令和4年（2022年）は8件です。

また、オンラインカジノには、賭客が賭博店に設置のパソコン等によりカジノサイトを介して店側と賭博を行う「店舗型」と、賭客が直接自宅等のパソコン等からカジノサイトにアクセスして賭博を行う「無店舗型」があります。

県警察におけるオンラインカジノの摘発（検挙）件数のうち、「店舗型」については、令和2年は1件、令和3年は1件、令和4年は0件です。

「無店舗型」については、令和2年、令和3年及び令和4年のいずれも摘発（検挙）はありません。

2 有効な啓発手法について

県警察では、警察庁と消費者庁が作成したポスターにつきまして、警察署、交番への掲示やパチンコ店等に掲示を依頼しているほか、多くの県民の皆様の目に留まるよう、本年5月には県警察のツイッター、6月にはホームページに掲載して注意喚起を図っているところです。

引き続き、県警察のツイッター、ホームページ等を活用し、オンラインカジノでの賭博行為の違法性について情報発信を行うなど、効果的な啓発活動に努めてまいります。

3 教育現場における啓発について

非行防止教室を始めとした児童・生徒への啓発活動の中で、オンラインカジノでの賭博行為の違法性や危険性などについて周知してまいります。